

馬金縛屋

力利

和

~13
3911
1



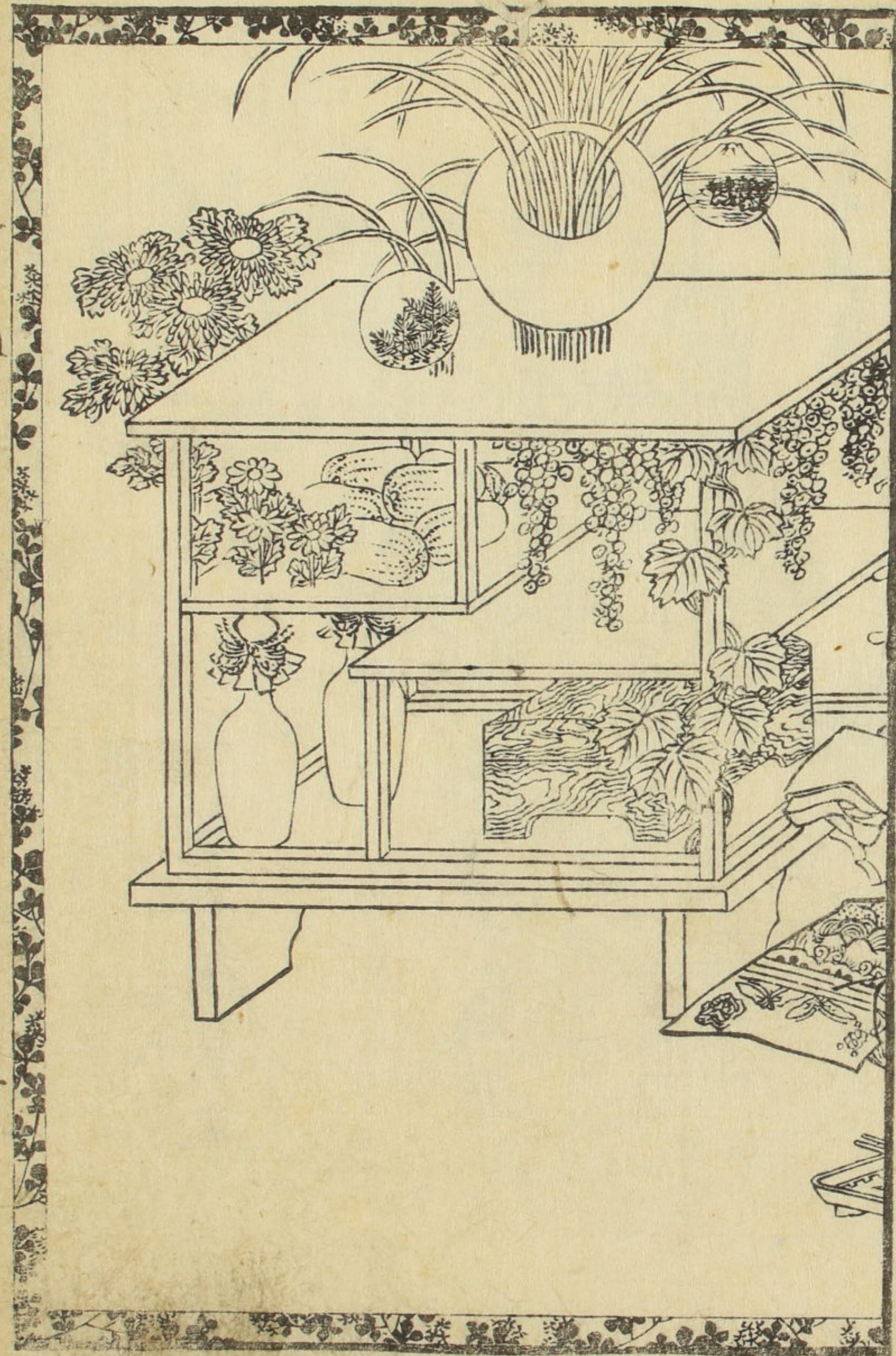
門 13
3911
1

上下着附の黒表紙といふ下赤本ハきろと云ふ時代めくちく山路洲崎比模様真向鬼乃太多がら糸巻小紋を採る中頃浮世をあられ扱ふ黄本と云ふ青と云ふ生髪色のまきかへもつら白地の土佐小半紙と云ふ加茂川漆の色ふ多と云ふ錦繪の標紙をわけたる合巻ハうきま小紋長樂寺と云ふ流行出舞の紅糸の昌蒲草狂言級の今ハ廢らむされど予が如き小半紙屋ハ繪組と目さきりの今と都々ね漆嶋の筋もつらを行儀あはれ細くてもつらと云ふ趣向もあはれその悪い板元も賣出の日よると云ふ氣と云ふハイ明後日といひ延し下細の小言是此時のいひ出せぬ名を鷹がのの二級うらまのきこのハ錦摺の表紙の上絵をたのまゝして新形といふてやうん

文政九年丙戌春

柳亭種彦誌





盃口舌過一坐閑
 入床續緬寂堆顏
 烟然未見今宵月
 酌酌猶望真辻止

否や一か世よ
 月の鳥帽子
 親
 立竿

武藏國戀ヶ窪
 玉川屋鮎藏が
 抱への遊女
 清川



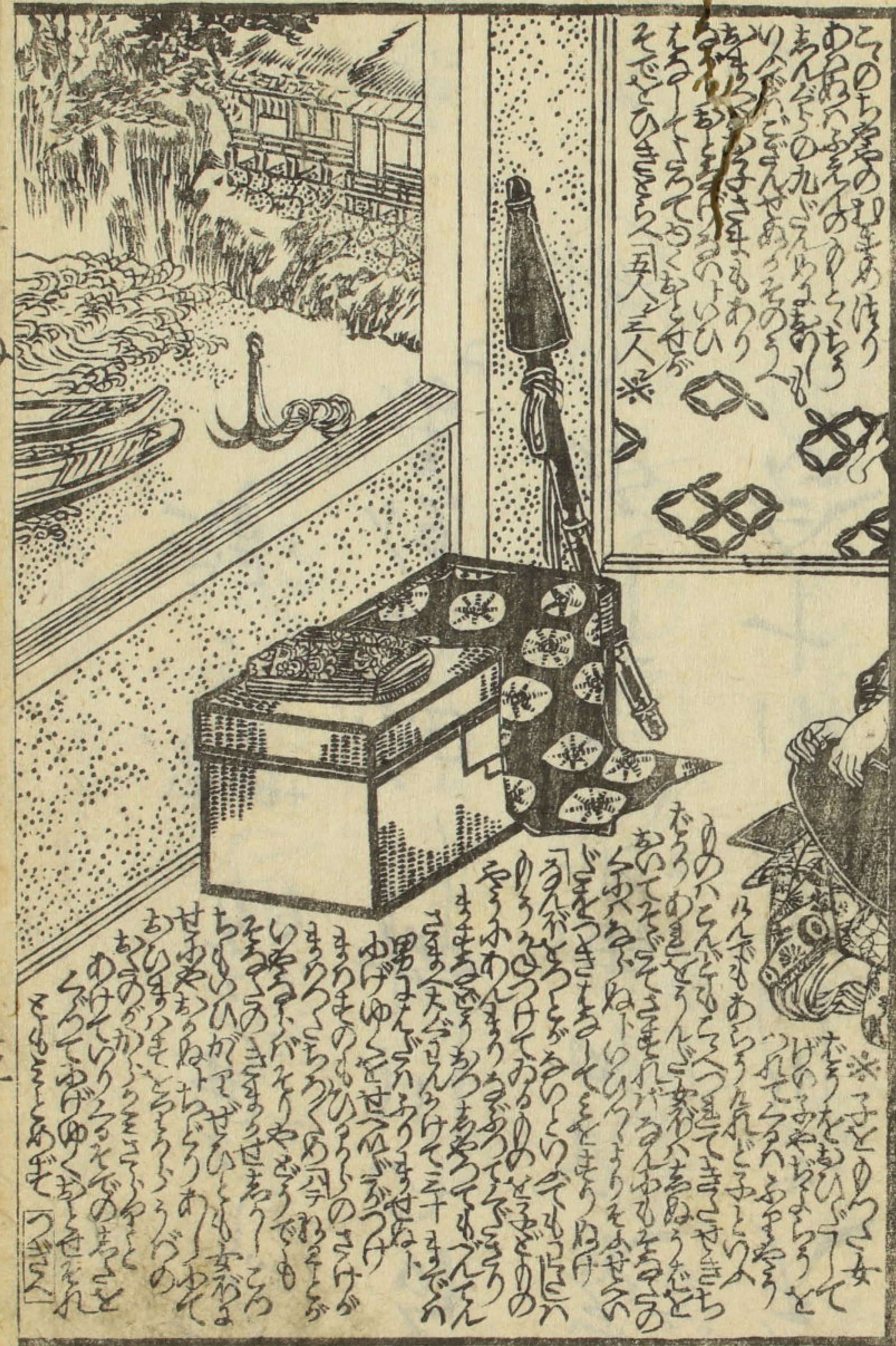
貝を貝と
 見れば
 其角
 貫賣賣
 閑太郎の妹
 阿佐知



貝めて貝成

柴崎の
 鳳金緋屋丈七





このちのちの世はあはれ
 ぬれぬれにふかきわらわら
 んぞの九つえりあも
 りかえりかえりあも
 きてのちのちの世はあはれ
 ぬれぬれにふかきわらわら
 んぞの九つえりあも
 りかえりかえりあも

おのちのちの世はあはれ
 ぬれぬれにふかきわらわら
 んぞの九つえりあも
 りかえりかえりあも
 きてのちのちの世はあはれ
 ぬれぬれにふかきわらわら
 んぞの九つえりあも
 りかえりかえりあも



このちのちの世はあはれ
 ぬれぬれにふかきわらわら
 んぞの九つえりあも
 りかえりかえりあも

おのちのちの世はあはれ
 ぬれぬれにふかきわらわら
 んぞの九つえりあも
 りかえりかえりあも



Vertical Japanese text columns on the left side of the illustration, likely a narrative or dialogue.

Vertical Japanese text columns on the right side of the illustration, continuing the narrative or dialogue.



Vertical Japanese text columns on the left side of the illustration, likely a narrative or dialogue.

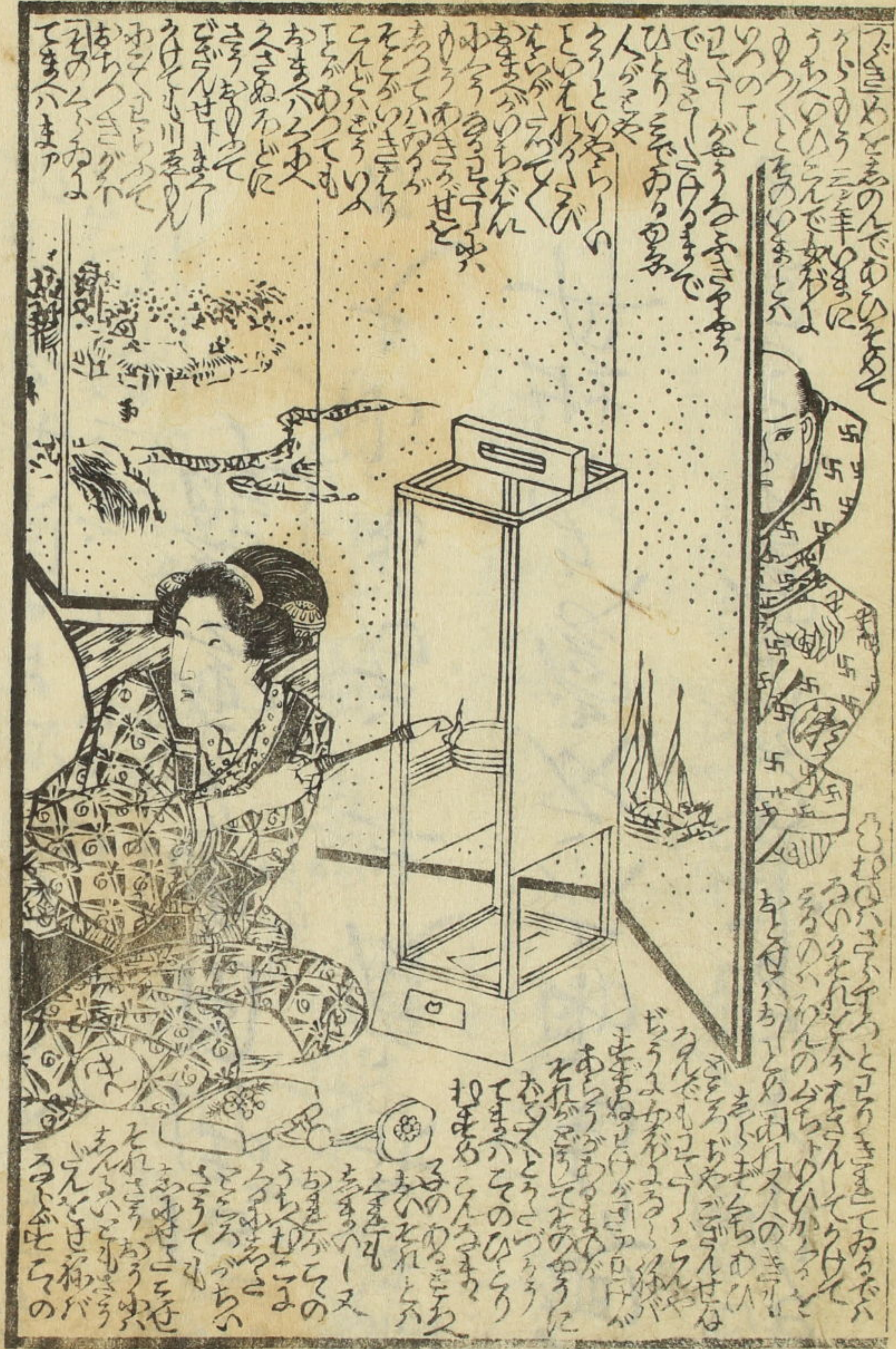
Vertical Japanese text columns on the right side of the illustration, continuing the narrative or dialogue.

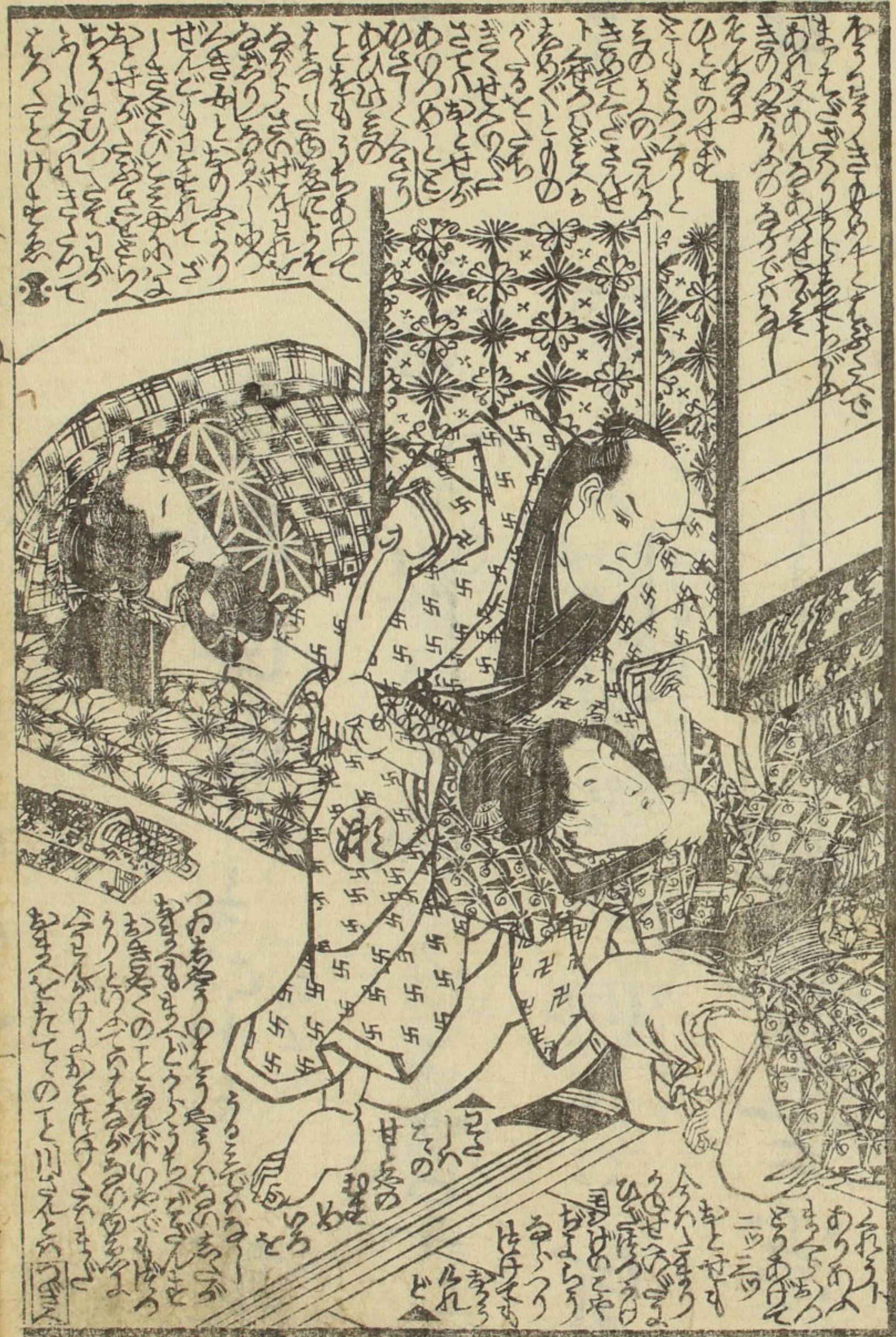
水戸屋

当日参

味講中

子鶴
万亀







三

三



